

地域の企業、金融機関、地方自治体等が集まり、PPP/PFI事業のノウハウ習得と案件形成能力の向上を図り、具体的な案件形成を目指した取り組みを推進する。

2015年度内閣府支援事業

習志野市(千葉県)

テーマ: 民間を活用した公共施設再編



浜松市(静岡県)

テーマ: 大合併後の公共資産経営



神戸市(兵庫県)

テーマ: 民間提案の促進



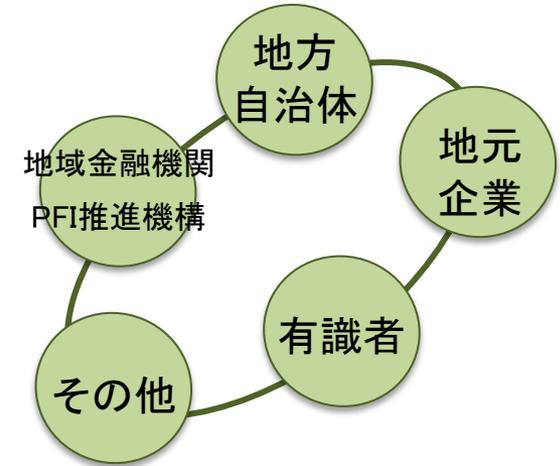
岡山市(岡山県)

テーマ: 未利用公有資産の有効活用



福岡市等(福岡県)

テーマ: 地域の枠を越え官民ネットワーク形成



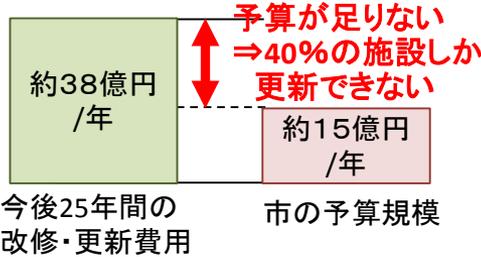
主な取組:

- 事例研究を通じたノウハウ習得
- 異業種間のネットワーク形成
- 具体事例での官民対話
- 民間提案の試行 等

PPP/PFI地域プラットフォームの取組について②

地域プラットフォーム形成支援事業(習志野市の例)

■ 地域プラットフォームを導入した背景・目的



市財政が厳しい中、
老朽化した施設の更新に対応するため
PPP/PFIの取組みが急務

地域企業: PPP/PFIに関する
知識・ノウハウの蓄積
市職員: PPP/PFIに取り組む
庁内体制の整備

■ 地域プラットフォームの実施内容と導入成果

○ 2015年度はセミナーを3回開催。地域企業・地域金融機関等から毎回30名程度が参加。

回	第1回	第2回	第3回
目標	意識の醸成、基礎知識の習得	ノウハウの習得	異業種ネットワーク形成、官民対話
内容	<ul style="list-style-type: none"> 将来の公共施設の維持更新費用に関する課題の説明 地元事業者参画事例の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> PFI実施方針の読み方、資金調達方法についての勉強会 ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 大手ゼネコンから地域事業者との連携方策について説明、質疑 市から具体的なPFI事業計画の情報提供



実施方針、資金調達に関して専門家が講師となって説明
⇒ 実務面の理解度が向上

意見交換を実施
⇒ 地元企業参画の課題を明確化

<ワークショップでの発表>

【アンケート結果】(地元企業13社)

- ・ PPP/PFIの理解度が向上 85%
- ・ PPP/PFIの参画イメージができた 62%
- ・ 今後も参加したい 54%

来年度以降は、要求水準書の見方、提案書の書き方、コンソーシアムの組成方法、リスク分担を教えてください、過去の事例を取り上げてほしいとの意見もあった。

<成果>

- 市が予算を確保し、2年目以降も継続実施
- 2016年度に市内初のPFI事業実施
(大久保地区公共施設再生事業)

PPP/PFI地域プラットフォームの取組について③

地域プラットフォーム形成支援事業(岡山市の例)

■ 地域プラットフォームを導入した背景・目的

公共施設の配置最適化で生じる未利用資産の有効活用についてPPP/PFI手法の導入を目指す。

- ・ 岡山市ではPFI草創期にPFI経験があるものの以降低調
- ・ 庁内・地域企業双方にPPP/PFIノウハウの再構築が必要

PPP連携の基盤づくり

■ 地域プラットフォームの実施内容と導入成果

○ 2015年度はセミナーを4回開催。地域企業・地域金融機関等から50名～130名程度が参加。

回	第1回	第2回	第3回	第4回
目標	公有資産活用方法の理解	官民対話の仕組み検討	官民対話の実践	今後の活動検討
内容	・ PPP手法、公有資産を活用した事例の勉強	・ 市の方針説明 ・ 効果的な官民対話方法や民間提案制度の検討	・ 旧内山下小学校跡地の活用方法に関する官民対話	・ 活動を踏まえた成果・課題の報告 ・ 来年度以降の活動に関する意見交換



官民対話の実践演習(第3回)



演習の題材
(旧内山下小学校跡地)

未利用資産の活用に向けた今後の活動計画を整理

- 市**
- 民間提案の制度化
 - 対象資産の活用方針を民間に情報発信

- 民間**
- セミナー・ワークショップを通じた提案能力の習得

<成果>

- 市の予算措置により、2年目以降も継続実施
- 具体的なPPP案件が出る見通し